

公益財団法人不老会会員のご家族の皆様へ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	内側瞼板前脂肪に関する解剖学的研究
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	眼形成・眼窩・涙道外科 准教授 高橋靖弘
試料・情報の利用目的 及び利用方法	<p>〔利用目的〕</p> <p>瞼板は眼瞼の1組織で、その前面には内側にのみ脂肪組織が存在します。この脂肪組織の役割は不明ですが、この脂肪が眼瞼手術の邪魔をします。従って、脂肪組織の解剖学的特徴を明らかとすることで、眼瞼手術をより容易にすることを目的としています。</p> <p>〔対象となる患者さん〕</p> <p>2021年1月から2022年7月までに医学教育に使用されるご献体</p> <p>〔研究期間〕</p> <p>研究実施承認日 ~ 2023年12月31日</p> <p>〔利用方法〕</p> <p>ご献体から眼瞼を採取し、顕微鏡で観察するためのスライドを作成した後に、脂肪の横方向の広がりや厚みを測定します。研究には年齢、性別、献体登録時の情報を利用します。研究の方法に関する資料を入手・閲覧を希望する場合は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
利用又は提供する試料・情報の項目	<p>試料：ご献体</p> <p>情報：年齢、性別、献体登録時の情報</p>
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	非該当
提供する試料・情報の取得の方法	非該当
提供する試料・情報を用いる研究に係る研究機関名・研究責任者名	非該当

利用する者の範囲	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2023年5月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 眼形成・眼窩・涙道外科 担当者：准教授 高橋靖弘 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12314)